



News Release

Webセミナー イベントレポート

「仕事に役立つFP資格と活用法」～総務・人事部門編～

日本FP協会(所在地 東京都港区、理事長 白根壽晴)は、2021年1月27日(水)に総務・人事部門で働く方を対象にWebセミナー「仕事に役立つFP資格と活用法」を開催しました。講師には株式会社東急ハンズの人事部で社内FPとして活躍する橋本貢氏(CFP®認定者)を招き、事業会社において、社内外問わずFP資格をどのように活用してきたかをお話いただきました。イベントの詳細は別紙イベントレポートをご覧ください。

【イベント概要】

日時:2021年1月27日(水)12:00~13:00

対象:総務・人事部門で勤務される方

参加費:無料

主催:NPO法人 日本FP協会

【プログラム】

1. 講演「仕事に役立つFP資格と活用法 ～社内専属ファイナンシャル・プランナーの活動～」
橋本貢氏(CFP®認定者/株式会社東急ハンズ 人事部 いま未来サポートチーム)
2. FP資格について
日本FP協会事務局
3. 質疑応答

【橋本氏プロフィール】

1966年京都府生まれ。大学卒業後、株式会社東急ハンズに入社。43歳の時にAFP資格を取得し、2015年に社内提案から従業員のキャリアとライフをサポートする「いま未来サポートチーム」を立ち上げ。2017年には上級資格であるCFP®資格及び国家資格である1級FP技能士を取得。翌年からFP業務を副業として開始し、2020年に一般社団法人「ライフキャリア・パートナーRAIL」を設立。



【日本FP協会とは】

日本FP協会は、社会教育活動としてファイナンシャル・プランニングの普及とパーソナルファイナンス教育を推進し、質の高いFP(ファイナンシャル・プランナー)の養成を通じて、社会全体の利益の増進に寄与することを目的としたNPO法人です。

<法人概要>

協会名:特定非営利活動法人(NPO法人)日本ファイナンシャル・プランナーズ協会

創立:1987年11月19日 ※2001年7月2日に特定非営利活動法人(NPO法人)として、スタート

理事長:白根 壽晴

事業目的:広く一般市民に向けてファイナンシャル・プランニングの啓発と普及を図る。

ファイナンシャル・プランニングの担い手(専門家)であるファイナンシャル・プランナーを養成・認証する。

事業内容:ファイナンシャル・プランニングに関する知識の啓発と普及、ファイナンシャル・プランニングに関する調査、研究及び情報の提供、ファイナンシャル・プランニングに関する書籍の発行、国内外のファイナンシャル・プランニング関係機関との交流、ファイナンシャル・プランナーの教育と資格認定試験の実施

URL:<https://www.jafp.or.jp/>

◆本件に関するお問合せ先

担当	日本FP協会 広報部広報課 伊藤・鈴木	TEL 03-5403-9742	FAX 03-5403-9795	E-mail info@jafp.or.jp
----	------------------------	---------------------	---------------------	---------------------------

※ CFP®、AFP®、CERTIFIED FINANCIAL PLANNER®、およびサーティファイドファイナンシャルプランナー®は、米国外においてはFinancial Planning Standards Board Ltd.(FPSB)の登録商標で、FPSBとのライセンス契約の下に、日本国内においてはNPO法人日本FP協会が商標の使用を認めています。

特定非営利活動法人(NPO法人)日本ファイナンシャル・プランナーズ協会

<本部事務所> 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス5F

TEL 03-5403-9700(代) FAX 03-5403-9701

<大阪事務所> 〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜1-4-19 マニユライフプレイス堂島5F

TEL 06-6344-8063 FAX 06-6344-8065

100 人生100年の
家計戦略

【別紙】イベントレポート

講演「仕事に役立つ FP 資格と活用法 ～社内専属ファイナンシャル・プランナーの活動～

自己紹介と資格取得のきっかけから講演はスタートしました。学生時代から資産を増やすことに興味はあったという橋本氏。ある時、職場の先輩から社内の通信教育にある3級FP技能検定の講座を紹介され、受講してみると「目から鱗」の知識ばかりで社会の仕組みも理解できるように。「生きていくうえで大事なことで、勉強すべきだ」と痛感し、2年かけて3級FP技能士から2級FP技能士、AFP資格とステップアップしながら資格を取得しました。

資格取得後は、当時勤務していた店舗の営業終了後に「放課後活動」として、FP資格で得た知識を活用した従業員向けの勉強会を開催していたそうです。そんな中、「ポストチャレンジ」という社内制度を活用。勉強会の評価もあり、現在の「いま未来サポートチーム」を立ち上げることとなりました。

「いま未来サポートチーム」ではFPの橋本氏のほか、キャリアコンサルタントが所属。全従業員が「働きやすい職場の実現」と自主的に行動できるようになってほしいと「従業員のキャリア自律」を目指し、同時にキャリアと生活の面をサポートすべくセミナーや個別相談に日々チームで取り組んでいるとのこと。

最初に開催したセミナーテーマは「仕事と介護の両立」。介護のために離職を選ぶ従業員を減らしたいとの思いで企画し、現在も年4回程度、全国で参加者数に関わらず開催し続けているそうです。今では、家族の認知症を想定したマネーリスク対策や、管理職を対象とした介護と仕事の両立について学ぶ研修をはじめ、ライフプランや確定拠出年金に関するセミナーも実施。

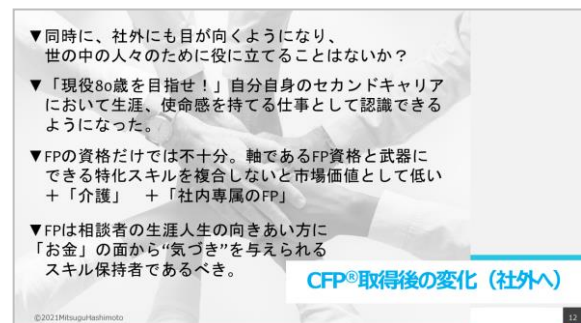
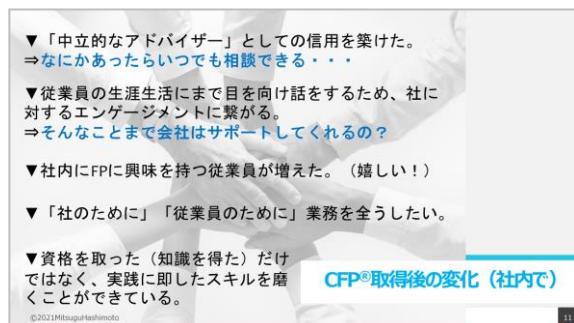
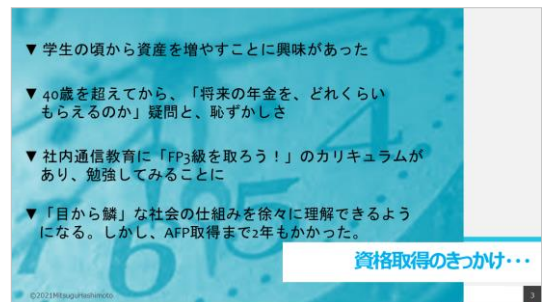
また、オンラインでの情報発信も行っているそう。「ひるまな」と題し、昼休憩中に「ちょっと知っておくためのなること」を約30分程度で伝えたり、育児休業中の従業員と配偶者を対象にお金や制度のこと、キャリアのことを家族で考えてもらうための情報を発信したり、育児や介護の当事者同士が情報共有できる場も設けています。

さらに情報発信だけでなく、個別の面談も「いま未来サポートチーム」の重要な仕事。生活の心配、ひいてはお金の心配は仕事に影響し、キャリアにも直結する課題と話す橋本氏。年間でのべ100件以上の相談を受け、住宅購入や保険の見直し、老後資金に関する不安等、多岐にわたる相談に寄り添う日々です。

CFP®資格を取得したことで社内・社外いずれも変化が。

仕事においては「中立的なアドバイザー」としての信用を築くことができ、「総務・人事の立場は社内制度に精通している」ことが安心感を与えると実感。また、従業員本人だけでなく家族のこと、定年退職後（再雇用退職後）のことまで相談に乗るため、「こんなことまで会社がサポートしてくれるの？」と従業員のエンゲージメント向上にも一役買える立場に。また、FPに興味を持つ従業員が増えていることも変化のひとつ。資格取得に向けてサポートをすることで、従業員の知見が広がる喜びも感じられるそうです。

そして、取得した資格を業務で活用できることは「従業員のために働きたい」という想いだけでなく、スキルを業務として活躍させてもらえる会社に対する満足度も高まり、定年まで頑張りたいという気持ちがさらに自分の中でも強くなったこと、そして日々FPとしてのスキルを磨くことができるようにもなりました。



社外では、世の中の役に立てることをしたいと副業を始めたり、「現役 80 歳を目指す」という目標が見えてきたりといったことも資格取得で得られた変化。FP 資格を軸として他のスキルや資格を複合することで市場価値が高まること、FP は相談者に対して**お金の面から人生やキャリアへの気づきを与えられる**スキルを持つ存在であるべきとも感じていると力強く語りました。

続いて、参加者のみなさんが社内 FP として活動するために、ご自身の経験から 4 つのポイントを紹介。

1. 伝道者を目指す

人生を自分自身で設計できれば自律した人生に繋がる。社内 FP はそれを伝える伝道者となってほしい。

2. 「介護」から取り組む

多くの企業で課題となっている「介護」から取り組むことは、「介護と仕事の両立支援を推進する」社内 FP という側面を持てるため、活動の浸透に繋がる。

3. FP とキャリアコンサルタントの親和性は高い

お金の面は FP、キャリアの面はキャリアコンサルタントがサポートできる分野であり、両者がいることで従業員を双方向でサポートできる。

4. 社内で志を持つ人にこそ目指してほしい

総務・人事という立場で社内風土を熟知し、信頼感・安心感がある人であれば「この人なら話ができる」と垣根が低くなり、相談されやすくなる。

最後に資格取得を目指す方々への熱いメッセージが。

「お金」と「社会制度」という超現実的な側面を客観的に捉えられるのが FP 資格。「キャリア」という曖昧で人によって考え方が様々なものにお金や制度といった皆が同じ認識を持つ分野から現実的にアプローチでき、キャリアまでサポートできるきっかけになります。生涯を「お金」の面から俯瞰しキャリアも併せて考えることで、従業員の自律に繋がりと、仕事に対するモチベーションにも変化を及ぼせる仕事です。

資格に興味を持ち、取得したもののすぐに仕事上で活用する機会がなくとも、仕事や人生と向き合うために「資格を取った」「取得に向けて勉強した」という姿勢は決して無駄にはならず、自分自身の経験値になります。

そして、「FP 資格で得た知見をぜひご自身の勤務先での活動に活かしてもらい、『自律した従業員の醸成』を期待します」と、社内 FP の輪が広がってほしいと語りかけて締めくくりました。

質疑応答では、働きながら資格取得に向けた工夫や大変だったこと、取得から実務に活かすにあたっての準備、社内 FP として苦労したことが聞かれました。それぞれのエピソードに答えながら、一貫して**「まずは自分で取り組む姿勢が大切」**というメッセージを発信した橋本氏。

試験勉強はまとまった時間が取れなくても、少しでも空いた時間に問題に触れることが大事で、勉強の内容が実務に活かせる具体的なイメージができると苦にはならないこと。また、社内 FP を始めるにあたっては、「アドバイザーではなく、一緒に悩みを考える姿勢で相談者と向き合うことからスタートしました。経験が積まれるとパターンが見えてくるものです。CFP®・AFP 資格があれば地域で活動する SG(スタディ・グループ)に参加して、FP 仲間を見つけ、FP 相談を練習できる機会もあります」と歩んできた道があるからこそそのアドバイスが。

社内 FP として受ける相談には転職を悩む従業員もおり、回答がづらい場合であっても、自身のキャリアに対して自律的に考えてもらえるようにするのがこの立場の第一義と認識すること。そして、相談内容が漏れる不安を持つ人のためにも、たとえ退職に関する悩みでも個人情報人事内で共有しないというルール作りが大切とコメントしました。

感想

■勤務先のライフプラン研修やワークライフ相談の業務に活かせる資格だと思いました。

■企業内での活動内容が具体的で素晴らしかったです。

エンゲージメント向上の視点でも活かせることはありそうだと思います。

■「社内専属 FP」というポジションは、すごくやりがいのある素敵なお仕事だなと感じました。

まずは AFP 資格取得に向けて頑張ろうと思います！

